

源右衛門藏

宝塚の古文書を読む会編（二十六）

## 目 次

会 報 名 の 由 来……………	4
解 読 文	
凡 例……………	6
御触書訴状控（文化十五年）（その二）（前号よりの続き）……………〔資料番号B―48〕……………	7
・ 覚（豊島郡新免村金禅寺托鉢巡行願）	
・ 大目附 <sup>江</sup> 式歩判金通用致之儀	・ 式歩判切賃の儀壹歩判同様之心得
・ 寺村三郎右衛門様隠居願	・ 乍恐口上（保科弾正忠様赦納米代銀皆納）
・ 新規式歩判金二ツを以金壹両、銀錢共両替小判同様の割合以通用の触	
・ 中山道和田宿外拾三箇宿、人馬賃錢割増願	
・ 覚（御蔵石垣・地面ならし賃請取覚）	・ 土砂留方役人秋廻実施の通知
・ 東番所よりの集合時刻通知伝達	・ 人別送り一札之事（百姓治郎兵衛娘きり）
・ 土砂留方役人秋廻行程の触と旅籠用意心得の立会村への伝達	
・ 日光御祭礼上方御領分夫役之触	・ 大目付 古分銅売買致間敷候旨触
・ 収納米糶摺之節、木白堅不相用	

寄稿文

街道拾遺……………	谷川やす子……………	26
国府橋……………	北田 彩加……………	46
『御触書訴状控』にみる土砂留普請……………	金山 真樹……………	55
宝塚市民がつくる冊子【マチ文庫】の一部紹介……………	柄谷 則啓……………	67
江戸時代の薩摩藩による濃尾平野治水工事の話……………	東 昭……………	74
古文書の暦から見える「グローバルな時空」……………	大村 剛……………	80
鉄斎の賛に挑戦 — 「万巻の書を読み万里の路を行く」はじめの一步……………	森本 敏一……………	88
原田さんを偲んで……………	乾 文男……………	94
原田さんの事……………	谷川やす子……………	95
追悼原田修氏のこと……………	楊井ツヤ子……………	97
広島へ美術館を訪れて……………	杉本 和子……………	101
ほんのひととき — 分水嶺 水分かれ公園にいったみた……………	山下須美雄……………	105
家系図作りから始まった古文書との出会い……………	芳木 純一……………	107
編集後記……………	世話人一同……………	113

◇ 表紙題字 書道家……………松本 恵泉さん

発行人 「宝塚の古文書を読む会」

世話人

乾 文男

川田和香子

櫛田 育子

谷川やす子

仲井真喜子

中安 章夫

藤本 清志

森田 寛

連絡先

宝塚市清荒神一丁目二番

宝塚市立中央図書館市史資料室

電話 〇七九七八五―〇六四八

令和六年(二〇二四)六月三〇日

発行日

株式会社 大塚印刷

大阪市北区大淀南二―六―三島田ビル三F

電話 〇六一六四五―一四五七七

FAX 〇六一六四五―一三七八六

Email: otk@violin.ocn.ne.jp